

右京区の魅力は、この4つの要素に込められている。

京都

京の大人の英知、
注入マガジン
【シー・エフ】

GO
号外
GAI

今、右京区では…。

～ SYNCHRONIZED CITY UKYO ～

P.1 ~ P.2

「交差同調」右京の、その先に ~Interview for the City of Kyoto~

P.3

「自然」があるということ benefit of Nature

P.4

「都会」であるということ convenience of Urbanity

P.5

「京都」にあるということ virtue of Kyoto

P.6

「新しい」ということ meaning of New

P.7

そしてこの街に「住まう」 beginning of Life

Navigator 森 夏子

「SUNNYSIDE BALCONY」パーソナリティ
毎週月～金曜日 11:00～15:00 On Air

@STATION
FM KYOTO 89.4

convenience of Urbanity

benefit of Nature



interview for
the City of Kyoto

「交差同調」 右京の、その先に

「交差」とは「クロスオーバー」、「同調」とは「シンクロ」。今、右京区ではいくつかの要素が重なり合い、そして同時進行的に変容しようとしている。「自然があること」「都会であること」「京都にあること」そして、「新しいこと」。その上に「住まう」を含めて、再開発の名のもとに、右京区がどこへ向かおうとしているのかを追う。



meaning of New

virtue of Kyoto

右京区はこう変わる。



平成14年1月4日、京都市長からひとつの構想が発表された。「天神川駅（仮称）周辺整備基本構想」である。御池通と天神川通の交差点と、さらにこのふたつの通に斜めに接する三条通一帯の再開発事業の始まりである。現在、右京区が大きな変貌の時期に入った、その最初の一歩である。

右京区は今、どのように変化を遂げようとしているのか、どこへ向かおうとしているのか。同事業を担当する京都市建設局 都市整備部 拠点整備課 担当課長・黒木省一さんに聞いた。

建設されるビルは、右京区役所を移転させる内容を筆頭に、右京地域体育館、右京中央図書館（仮称）、駐車場などを含む。これらの土地利用方針の決定に関して、行政と住民、権利者、専門家の三方による「まちづくり検討会」が組織されている。まさに京都市政推進の柱「市民と行政のパートナーシップ」が実現された形である。この検討会を経て、固まったのが文頭にある市長からの構想である。具体的な設計などは、この後に行われている。

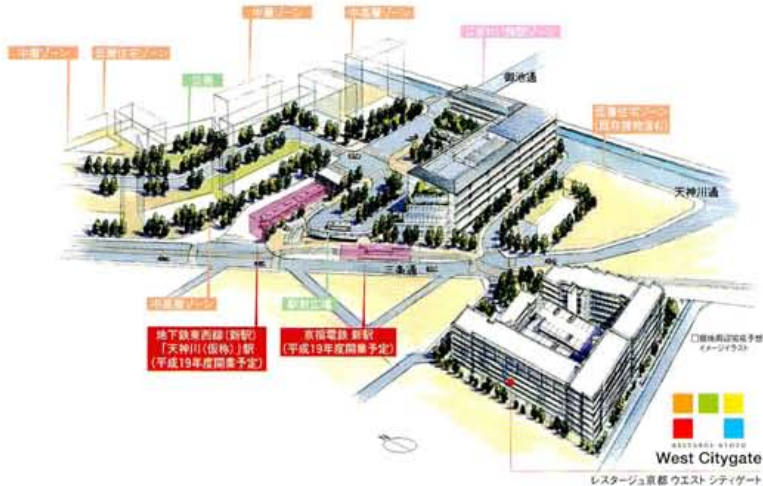
「きっかけは地下鉄東西線の延伸、今は二条までですがさらに西、天神川まで伸ばそうという計画です。その決定が平成11年11月10日、それを受けて、地下鉄の終端駅として、駅前広場をつくって、そこを起点にして、バスの発着点、さらに京福電鉄の新駅をつくり交通の結節点にし、人の集まるところには利便性のある施設もつくり、さらに良好な居住環境の整備もする、というのが大まかな内容ですね。具体的に言うと、5・2ヘクタールの区域の土地区画整理事業と、市街地再開発事業との一体的な整備です」。再開発事業で

構想の実現にあたっては、ふたつの事業が並行して始められた。「太秦東部地区土地区画整理事業」と、その区画内の「太秦東部地区第一種市街地再開発事業」である。「土地区画整理と再開発を『重ねて』進めた」という言い方が正しいかもしれませんが、それは従前の居住者が、整理もしくは開発後に選べる選択肢が多いからに他ならない。「もちろん、この場所にお住まいになつていた方もいらっしゃるわけですから、従前居住者の方の居住環境も整えましようということです。区画整理というのは、用地買収ではなく『換地』といういわば土地の交換なんです。従前居住者の方には取り壊した建物に関して金銭補償をして、同じような性質の土地に移っていた。再開発は逆に、従前居住者の方が同じ場所に住みたいという場合には土地建物を再開発ビルの『床』に変換して、土地と建物の価格に見合う分のビルの床を等価交換、『権利変換』と言いますが、していただくんです。法律の改正により、全国で初めて京都市が本格的にこの手法をとることになる。

この開発について市が打ち出した4つの方針は、「右京区を中心とする交通



京都市 建設局の担当課長・黒木省二さん。本文中にある右京区役所を含む施設は、屋上緑化をさらに進めた形で階段状の建物に設計し、各階に広場に面した屋上部分には公園的な開放型の屋上を各階に配した。「ちょっとウチの宣伝をさせてもらって良いですか？(笑)」と前置きして、「各屋上からは愛宕山が見えて、最上階の屋上からは大文字が見えるという設計です」と説明してくれた。地下駐車場のさらに下層に雨水を貯留し、トイレや屋上樹木への散水に使い、さらに共有部分に使う動力もソーラーシステムという、徹底した環境重視型。ビルの計画に関してもワークショップを何度も重ねた。一般からの熱心な参加者により、建設的な意見が交わされたという。



Keifuku Line

Kyoto City Subway
Touzai-Line

new station
TENJINGAWA



クロスオーバーとシンクロ、

拠点づくり」「右京区の顔となる街並みづくり」「右京区民が集えるにぎわい空間づくり」「住民が安心して暮らせる居住環境づくり」。

「言葉を変えれば、根本はさっきおっしゃっていた今回の企画と同じになるかもしれないんですが(笑)。具体的に言うと、右京区には嵐山・嵯峨野というエリアを始め、北へ行くと京北町へ抜ける自然環境があり、愛宕山、蚕ノ社を始め山沿いの神社仏閣などの歴史環境もある。さらに島津製作所やロームといった工業施設としての側面、そして低層住宅が多く、いわゆる住宅地という側面もある、ということである。

ただし、現状では都心区とは違い、縦(南北)の道が少なく基盤整備が遅れていた。大きな鉄道路線は京福電鉄のみであり、いわゆるインフラが整備されていない部分もあった。そこに新駅を築くことは阪急・JRを含め、鉄道による回遊を可能にする。同時にバス路線の再編も予定されており、京都の西の玄関口となるこの地。今までに足りなかった要素を一気に手にしようとしている右京区。「その基盤整備というのが我々の仕事です」。

では、リニューアルされた後の右京区はどうなるのだろうか。肝心なのはそこである。従来の右京区の性格から、住環境を含めたこれからの話を聞いた。

「京都市の周辺区ですから、街なかではなく、本当に普通に住まわれている方が多い。マンションは少ないですからね。ただ、これから、開発後の土地利用の仕方としては、交通の利便性が高い場所については高密度になるのは当然の発想です。つまり高層住宅に住むというライフスタイルも必要になってくるでしょう。ただその場合、低層住宅が並んでいるところにいきなり



大きなものを建てるのではなく、ルールを守ったやり方も必要でしょう。肝心なのは従前からお住まいになっている方がどう評価されるかだと思っんです。大きい建物はそれだけで社会性を持ちます。良い設えができれば、近隣とも良いコミュニケーションができるんです。その建物がどのように地域に馴染んでいくか、その仕掛けをいかに造れるかというのが、開発者や設計者の腕の見せどころだと思いますね。これはあくまで個人的な意見ですが(笑)。繰り返しになりますが、工業や住宅や自然は、これからは右京区にはあり続けます。それぞれが邪魔し合うのではなく、互いに発展して欲しいと願っています。それは高度経済成長期のような急激なものではなく、ゆっくりに良いので着実に、落ち着いた発展であって欲しいですね」。

下準備は京都市によってなされた。あとはこの界限が実際どんな商圏となり、どんな生活環境となるかということだ。街を作るのは、人である。住む土地によって人は変わるが、逆に土地を変えていくのは人である。いくつかの要素がクロスオーバーし、そしてシンクロする街。その街を知ること、そしてそこに住むことに、どんな魅力が潜んでいるのだろうか。

「自然」があるということ

「嵐山」「嵯峨野」「大堰川」…。山があり、野があり、川があり、何よりも地名が全てを物語っている。右京区には、自然がある。それは美徳であり、幸せなことなのだ。

大堰川沿いに建つ「嵐山辨慶」。写真は立派な岩風呂を誇る「保津川の間」。磯橋社長のもと、大河内山荘から渡月橋までの間をライトアップするイベントなどを含む音楽祭を、今年も9月23～26日の4日間開催



【京料理 旅館 嵐山辨慶】

■京都市右京区
嵯峨天龍寺芒ノ馬場町34
☎075-872-3355(代)
<http://www.benkei.biz>

山に川、自然や景観だけではなく、それを大切に暮らす人こそが美しい。

渡月橋を境に、南進する桂川は大堰川と名前を変える。大堰川沿いを歩く。豊かな木々と、木陰を縫って届く風。観光客で賑やかな目抜き通りと比べて、圧倒的に緑が多いことに気付く。

「嵐山の自然。何かから話せば良いのかな」。少し考えて、温泉旅館「嵐山辨慶」の磯橋克康社長は切り出した。「二昨年から中ノ島公園に舞台を設け、大河内山荘、野々宮神社などで、同一時刻に異なる音楽祭を催しています。それは社長を含めた10名の有志によるそうだ。「自然豊かな嵐山に我々はただ安穩と暮らしているのではないかと。知るべき事があるのではないかと。それが主旨です。嵐山を見つめ直し「素通り型ではなく、滞在型のエリアに」というコンセプトを実現すべく温泉を掘ったのも、一昨年のことだ。

「チャリテイイベントで10kmのウォーキングを行って、奥嵯峨、嵯峨野、広沢の池」と歩きました。秋の刈り取りが終わった田んぼの銀色の世界。それはすごい景色でした。

毎年紅葉の頃、11月9日に行われる「嵐山もみじ祭」は、嵐山一帯を守護する嵐山蔵王権現に感謝を込めた祭だ。磯橋社長の話の真意は、この祭と同義だと気付く。

嵐山の赤松を松食い虫から守る手入れ、植林・育林…。自然とは、共存し、時に守るべき対象である。「みんなで大切にしないといけない景観を享受しているのに、川にゴミが落ちてたり。自然を目の前にすると、子供の頃、母に言われたお小言を思い出しますね。今、私たち大人がマナーを守れているのだろうかと思って」とは、森夏子さんの感想。

嵐山。右京区の自然。それは当たり前前のものではなく、景観同様、ここに住む人の心の美しさで守られている。敬意を持って接すれば、ここはいつでも素晴らしい自然を与えてくれる。そんな上環と、何よりも、そう思う人の心がある。





【Le Monument bleu】

ル・モニュマン・ブルー

■京都市右京区
西院西三蔵町13-1
☎075-315-7000
●18:00~翌2:00/火休
<http://www.monumentbleu.com>

パズルのピースとしての同店は、居酒屋層ではない、パブリックな店を目指しているという。立ち居振る舞いのしっかりしたギャルソンにバーテンドレス。その安心感からか、女性のひとり客が非常に多いとも

街はエネルギーを与えたがっている。まだまだピースは増え続けるだろう。

「居酒屋とか、スナックが多かったですね。オナー・神崎裕之さんが振り返る、10年前の西院の様子だ。今年の4月にリニューアルをしたばかりだが、店自体は10年目になる。時は進み、3〜4年前には韓国料理店などが立て続けにオープンし、さらにここ2〜3年の間に真左下の「66 art」のようなダイニングバーも増え、一気に賑やかになった。」

「そもそもマーケットはあつたんだと思います。京都外大を筆頭に立命館大学・光華女子大学・花園大学…学生さんが多いし、島津製作所・ローム…大企業も多い。住宅もありますから、帰宅される前に寄られるケースも、帰ってこられてからというケースも多い。」その混在のバランスが良い。「阪急と京福という電車の分岐点でもありますから」。そう、何よりアクセスが良い。

「潰れた店の話を殆ど聞かないんですよ。新しいお店ができて、ずっとお店がある。例えて言うなら、パズルのピースにムダがないんです。居酒屋でもバーでも、業種として同じ色のピースもあるけど、需給のバランスが取れていて、余るピースがないんです。実に解りやすい例えだ。」

「西院で、良い店見つけてラッキー(笑)。阪急ユウザーとしては、どうしても通過してしまっただけだから。男も女も、30歳越えて頑張る時、オンとオフのスイッチを憶えて、元気にしてくれるところって感じがしました。優しく優しく、許してくれるところ(笑)。」森夏子さんは手放しの喜びようだ。

穴のない街のようだが、10年の歴史を見つけたオナーはこうも言う。「まだまだ欲しいピースはありますよ。例えばセレクトショップとか、ロフトのような大型の雑貨店とか。なるほど、確かにそうだ。活気に満ち、エネルギーを与えてくれる町を、人は都会と呼ぶ。西院という都会は、現状の便利さに満足していない。まだまだ、与えられるエネルギーを欲しがっているかのよう。」

convenience of Urbanity

「都会」であるということ

帰って行く場所であり、帰って来る場所でもある交通の要所。ここに灯るあかりは、そこに満ちる空気は、活気に満ちている。エネルギーを与えてくれる街を、人は都会と呼ぶ。

上質なフレンチ・フードと豊富な酒類、そしてピアノやヴァイオリンのライブなども行う



仕掛けの利いた壁面や調度の類など、店内のモチーフはアジア。味気ないマニュアルや回転率ではなく、客の表情や同伴する相手を見て接客をこなすと、界限では評判だ

dining & bar
【66 art】 ロクロク

■京都市右京区
西院西三蔵町12 B1F
☎075-314-9966
●18:00~翌2:00/無休

virtue of Kyoto

「京都」にあるとこうよ

今に続く、旧き良き「活動屋」の町・太秦。錚々たる役者たちが暮らしてお母さん。この土地に染み込んだ人の情という美德。町の顔が見えること。町の声が聞こえること。それは何よりも素晴らしい。



創業80年。お母さんが嫁いできたのが50年前。ご主人は亡くなったが、今は息子さんと共に店に立つ。「あの子（息子さん）は何でか知らんけど、田中邦衛さんに気に入られててね。『お〜い、若あ〜』って言うて入ってきはる（笑）」

【御食事処 つたや】

■京都市右京区太秦堀之内町31
☎075-861-0947
●11:00~19:00/日祝休



町に染み込んだ人の情が支える笑顔
その笑顔に、役者たちは支えられる

「梅干しと、めざしと、お味噌汁とこはん。そう決まってるの」。映画の町、太秦。大映通り商店街にある「つたや」のお母さんが言う献立は、何を隠そうこの店から運ばれていた「必殺仕事人」の主人公・中村主水の朝食だ。

厨房の奥にある座敷は役者たちの東の間のオアシスでもある。撮影中の偏った食生活に、お母さんの作る「お袋の味」はありがたいに違いない。「こないだは渡部篤郎さんが食べはって『美味しいなあ』言うて感激してくれてはってね。それから毎日同じメニュー（笑）。緒形拳さんにしても渡辺謙さんにしても、『お母さん、しばらくいるけど頼むねっ』『何力月か、お世話になります』って来てくれるはる。嬉しいことやねえ」。ここは撮影所の台所。そして役者たちのお母さんがいるところ。

森夏子さんは言う。「不思議な町。映画という文化の中で、外からも人が入ってくるけど、町内というコミュニティがあつて。今は人と話をしない生活リズムになってますよね。でもここは会話が多いと思う」。

「役者さんは謙虚な人が残るねえ。そのへんは厳しい世界やで。天狗になつたらアカン」。時に手厳しいお母さん。それでも役者には人情があると、お母さんは繰り返す。「人情」と一言で言っても、それが何か解りづらい今、彼女の声を聞けば身に染みて解る。

かつて「あんた、出前箱を抱えて一日に何里歩くの？」と撮影所で聞かれた健脚は今も健在。毎日30分の散歩は欠かさない。「そんなに長生きしたいとは思ってへんのやけど（笑）。お母さんがいなくなつたら、撮影所の息子や娘がいつたい何人悲しむことか。いつまでも元気でいてもらわなくては困る」。

呑気というでもない、テキパキと働く中にも柔らかくゆつたりとした優しさと、少しの厳しさと。太秦の顔、「つたや」のお母さん。彼女の存在が何よりもこの町を語っている。



「勝ちゃんもよくここで寝ころんであったわ。『お母さん、撮影所から電話あつたら起こしてな』って。勝ちゃん、とはかの勝新太郎。本当に、お母さんである」



【ダイヤモンドシティ・ハナ】

■京都市右京区西院通分町25-1
☎075-326-8701(代) P1700台
<http://hana.diamondcity.co.jp/>



140の専門店からなる界隈はもとより、京都でも随一の規模を誇る大型ショッピングモール。最新のニーズに応じたライフスタイル提案型を標榜する

【京都ワンダーシティ】

スーパーオートバックス

■京都市右京区西院安塚町1
☎075-326-0055(代)
<http://www.woow-wondercity.com>



メインストアは「スーパーオートバックス」。カーエンターテインメント空間というふれ込みだが、もちろんカフェやヘアサロンの専門店の存在も見逃せない



【京都ファミリー】

■京都市右京区山ノ内池尻町1-1
☎075-321-5627(代)



本文中にもあるとおり、'82年に京都初のショッピングセンターとして誕生。以来界隈の生活を支えている。今年の6月19日にリニューアルオープンしたばかり

真つさらな生活環境があること
それもまた、右京区のピース

前述の「Le Monument bleu」の神崎オーナーが「まだまだ欲しいピースはあります」と言った。そのピースは、実はもうできています。そのひとつがこの「ダイヤモンドシティ・ハナ」だろう。セレクトショップや雑貨店など、140の専門店と、生活密着のジャスコがシェアする複合商業施設としてこの春にデビュー。右京区ライフを飛躍的に便利で、そして豊かなものにした。まさに、これからの右京区の需要に見事にはまる、新たなピースである。それだけではない。時期を前後してスーパーオートバックスを中心に、アミューズメント性の高い「京都ワンダーシティ」も誕生している。さらに、1982年に地域に密着したコミュニティショッピングセンターとしてオープンし、「ダイヤモンドシティ・ハナ」と同じくジャスコを含むショッピングに加えて、カルチャースクール、スイミングスクールなども併設

するショッピングモール「京都ファミリー」も今年の6月に大幅なリニューアルを行っている。大規模な商業施設がしのぎを削るかのようである。利用者にとっては願ってもないことだ。

「ダイヤモンドシティ・ハナ」を訪れた森夏子さんは、「アカン」。買った物したい(笑)と各テナントを物色中。叔母様がアメリカ在住で、自身ホームステイの経験もありアメリカの生活環境にも明るい森さん。「広い駐車場があって、いわゆるアメリカで言う『モール』ですよね。家族とか、大勢で行ってももちろん便利だし、ひとりで行っても使える、というか楽しめる。一人暮らしにもありがたいですよ。カフェを併設するイタリアンインテリアのショップ「VICEVERSA」で実際にお買い物。ご満悦の様子である。ショッピングモールに代表される、生活環境を支える施設が、今、右京区で最も新しいピースとしてある。

meaning of New

「新しい」の意味

衣食住のうち「食」と「衣」、さらにアミューズメントやスクールまでもを司る「モール」の存在。そしてそれが、右京区では次世代型の最新施設であるということ。その意味は大きい。

そしてこの街に「住まう」

リニユアールしていく右京区。その開発の第一歩から、エリアが持つ魅力を見てきた。そして最後に、自らが住まうことを前提に考えてみる。このエリアに住まうという意味を。



そして考える、
最も自分に身近なこと
「住空間」としての、
最新右京区

ここにひとつの集合住宅がある。「レストージュ京都ウエストシティゲート」。約66㎡から約103㎡まで、3LDKから4LDKを軸とするタイプの間取り、総戸数195戸という立派な規模だ。巻頭で紹介した開発エリアの南側に位置し、地下鉄東西線・京福電鉄の新駅からは徒歩1〜2分の好立地。

【RESTARGE KYOTO West Citygate】

マンションギャラリー

■京都市右京区西院西川町59-2
0120-405-483
営業時間/平日11:00~18:00
土日祝10:00~17:00
定休日/水、第2火休
<http://www.kyoto-west.jp/s/>

今回、森夏子さんが訪れたのは、そのマンションギャラリー。噴水から流れ出る水と竹の緑を配したお洒落なエントランス、マンションのコンセプトなどを映像で体感できるシアタールーム、完成予想のモデルルーム、完成予想のモデルルームのバビロニア化を見事に体現する2階建てである。

自身マンションにひとり暮らしの森夏子さんは、2種類のモデルルームを見学し、実地的確かなコメントを残してくれた。

「戸数が多いからできる事ってありますよね。管理費などのコストパフォーマンスを下げるとか。全戸分確保の駐車場が無料っていうのも驚いた。一番有効な部屋の取り方をしているし、すごく計算されたマンションだなって思いましたね。バイク置場・自転車置場(サイクルポート含む)はそれぞれ全戸数の30%越と200%を数え、集会室を兼ねるパーティールーム/キッズ・チャイルドケアルーム、ゲストルーム/ミニシアターなどの共有スペースやトリプルセキュリティ、多彩なライフサービスなど、ほぼ完璧に近いスペックを誇る。

京都市初

※MRC (分譲マンション売行き調査会社調べ)

1階の全住戸に専用庭+サイクルポート

1階の全住戸に専用庭を確保。ガーデニングも本格的にお楽しみいただけます。さらに、2台の自転車またはミニバイクを駐輪できる家族専用のサイクルポートも設けています。

マンションコージェネレーションシステム (上水不熱方式)

天然ガスによってマンション内で自家発電するシステム。住戸内や共用部の一部の電力をまかない、発電時の廃熱を上水の予熱に利用します。省エネ性が高くCO₂(二酸化炭素)やNO_x(窒素化合物)などの排出も少量でエコロジー効果も高い次世代のエネルギーシステムです。



既存のプレハブにモデルルームを押し込んだイメージな造りとは、明らかに一線を画すお洒落な外観



贅沢に開放感を持たせたエントランスは、一見してモデルルームのそれとは思えない



立派なシアターでは、マンションのコンセプトなどがわかりやすく映像で体感できる

平面自走式駐車場(全戸分) 使用料月額0円

どこに行くにも便利な地下鉄東西線(新駅)「天神川(仮称)」駅(平成19年度開業予定)前とはいえ、車はアクティブな都市生活の必需品といえるでしょう。そこで敷地のスケールを活かし、195台分・設置率100%の平面自走式駐車場をご用意。しかも月々の使用料は0円。毎月の負担を大きく軽減し、いつまでもいきいきと輝く暮らしをサポートします。

■物件概要 ●名称/レストージュ京都 ウエスト シティゲート ●所在地/京都市右京区太秦下角田町12番 ●交通/地下鉄東西線新駅「天神川(仮称)」駅徒歩2分、京福電鉄嵐山線・新駅徒歩1分、7番/社)駅徒歩4分、JR嵯峨野線「花園」駅徒歩15分 ●地域/地区/工業地域、第4種高度地区 ●基準建ぺい率/60% ●基準容積率/200% ●敷地面積/7,456.91㎡ ●建築面積/4,360.73㎡ ●建築延床面積/19,612.54㎡ ●専有面積/なし ●構造・規模/鉄骨コンクリート造7層建 ●建築確認番号/第15種附設建築C1A02202号(平成16年3月31日付) ●総戸数/195戸 ●販売戸数/未定(販売計画が未定のため、掲載のデータは全体概要を表示しています。本広告において販売戸数等を表示いたしません。) ●販売価格/未定 ●間取り/2LDK+4F+4LDK ●住居専有面積/66.82㎡~103.81㎡ ●バルコニー面積/11.78㎡~41.64㎡ ●駐車場/195台(全戸分平面自走式・使用料月額0円) 別途来客専用駐車場10台 ●駐輪場/336台。別途サイクルポート27区画 ●バイク置場/16台 ●ミニバイク置場52台 ●分譲後の権利形態/敷地および建物共用部分は住居専有面積割合による所有権の共有。建物専有部分は区分所有。 ●竣工予定/平成17年3月下旬 ●入居予定/平成17年3月下旬 ●事業主(売主)/双日株式会社 国土交通大臣免許(12)第345号 大阪市中央区今橋2丁目5番8号(社)不動産流通経営協会(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 ●販売提携(代理)/双日リアルネット株式会社 国土交通大臣免許(7)第3175号 大阪市中央区平野町1-5-7(社)不動産流通経営協会(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 ●販売提携(代理)/株式会社長谷工コーポレーション ●説明設計協力/ヤマギワ株式会社 ●管理形態/区分所有者全員により管理組合を組成し、管理会社に委託していただきます。 ●管理会社/ニコム建物管理株式会社 ●販売開始予定時期/平成16年8月 ●地下鉄東西線延伸および(仮称)天神川駅に関する情報は、京都市発行「京都市都市計画(京都市都市計画部)都市計画事業太秦東部地区第一種市街地再開発事業 事業計画書」(太秦東部地区の新しいまちづくり)を参照。 ※現地から地下鉄東西線新駅(仮称)「天神川」駅及び京福電鉄新駅までの徒歩分数は、上記参照資料をもとに算出したものです。 ※徒歩分数は80mを1分とした概測です。 外観完成予想図は行政官庁の指導、施工上の都合および改良のため設計・仕様・外構工事等一部変更が生じる場合がございます。販売開始または契約または予約等には一切おしりされませんので、あらかじめご了承下さい。



外観完成予想図